

## 福岡・九州・日本

がいのじゃないかしら。この言葉の方がより基本的な次元で他人を見させてくれると思う。日本にだって、他国や異文化はもちろん、自国文化の中にあるキャリア、性別、教育レベル、宗教などの違いにも理解を示し、尊重しようという機運が芽生えてきているでしょう。この機運が進めば、国際化へのより大きな一歩を踏み出すことができると思うわ。

分自身は何も変わらなかった。結局アメリカを離れるまで、僕は育ってき

### マリア・バルマセダさん

●プロフィール/フィリピン出身。32歳。21歳の時夏期講習で短期間来日したことがある。23歳の時米国で修士号を取得し、現在はコミュニケーションコンサルタント。



た環境のやり方から抜け出せなかったんだ。基本的な部分では変わりたくないと思うし、子供の頃の自分と変わっていないと思うけど、アメリカを離れたとき、慣れ親しんだやり方や反応の仕方は通用しなくなってしまった。アメリカでは、どのように振る舞えば良いかとか、自分が何を期待されているのかがよく分かるんだけど、日本に来て、新しい社会での生活の仕方を学び直さなければならなくな

ったんだ。これは違う種類の国際化なんだと思う。異なる社会に住むってことは、個人レベルでの対応とは、また違った経験を与えてくれる。マリアが言うように「国際」という言葉を定義するのは本当に難し

いことだ。でも、僕の意味で、僕は、自分が国際人に近づいたと思っている。今では世界中のどこへ

### 異なる社会に住むってことは個人レベルの対応とは違った経験を与えてくれる (エリック)

エリック●一個人のレベルで心を込めて応対する人を「世界人」と呼んでたけど、それってある種の「普遍的な個人」だよ。この考え方には全面的に同意するよ。でもサンフランシスコにいたとき、世界各国の人々と毎日会って、世界中のできごとや、国外での様々な経験を聞いたけど、自

### エリック・オルソンさん

●プロフィール/米国・ミネソタ州出身。30歳。カレッジ卒業後シアトル、サンフランシスコを経て、7年前従兄弟のいる福岡へ。インターナショナルハウス主任英語講師。



### ホセ・マ

●プロフィール/していた恩師。フィリピン理学部数学

ブルース●より所があるんだよね。

ルハ●でもそれは自然なことだし、人間の特性でもあるわ。エリックが来日当初、何でも「なぜこんなやり方をするのだろう」「アメリカではこのようにするのに」って言ったのに似ている。それはただ自然なことなのよ。人は自分が知っていることや、子供の頃に教えられたことに戻ることができるだけ。

ルイス●それは安全すぎる考えだと思うな。それはつまり「一個人である」という信念が崩壊して、グループ意識に戻るといことだろう。「自分であること」を守りきれないんだよ。

マリア●ルハの「国際人になるためには必ずしも外国に行かなくてもよい」という意見には、私も賛成。私は国際という言葉に問題があると思う。むしろ「世界人」と言った方